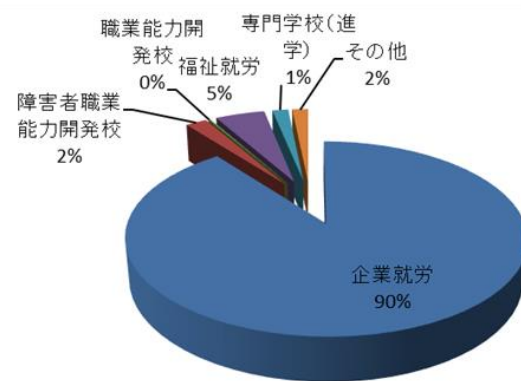


卒業生進路分類 (単位:人)

	総数
企業就労	510
障害者職業能力開発校	12
職業能力開発校	1
福祉就労	28
専門学校(進学)	9
その他	9
卒業生全体	569



様々な業種で
活躍する卒業生



食品製造業



製造業



小売業

就職業種別一覧 (単位:人)

	総数
製造業	275
小売業	89
サービス業	121
運輸業	21
農業	4
計	510

令和5年度の主な就職先

(株)サカイ引越センター、(株)カプコン、住江工業(株)、
(株)タカゾノリープス、伊賀屋食品工業(株)、朋和産業(株)、
(株)アサヒセキュリティ、(株)かんでんエルハート、
(株)平和堂、(株)バロー、新熱電塗装工業(株)、(株)明治、
(株)エコスタイル、(株)国際電気通信基礎技術研究所、
医療法人社団石鋸会 京都田辺中央病院、共和工業(株)、
医療法人社団石鋸会 介護老人保健施設 やすらぎ苑、
(株)TRファクトリー、ピークルエナジージャパン(株)

進路指導の流れ

第1学年

- ・会社見学・就労体験
- ・校内での実習
(11月に3日間)
- ・グループでの現場実習
(2月に3日間)

第2学年

- ・個人で現場実習
(6月に2週間)
- ・グループでの現場実習
(9月に3日間)
- ・グループでの現場実習
(2月に3～5日間)

第3学年

- ・個人で現場実習
(5月に3週間)
- ・前期進路相談(求職申込)
- ・就職のための実習(7月～)
- ・後期進路相談(求人票の確認)

京都府立城陽支援学校
城陽市中芦原1-4
Tel 0774-53-7100

- ・進路指導は、本人の希望や適性を面談や実習で確認しながら進めます。
- ・実際に働く上で必要な配慮や手立て等を実習で見極めながらジョブマッチングを進めます。
- ・障害者雇用にかかわる各制度を活用し就労します。
- ・卒業後は、障害者就業・生活支援センターやハローワーク等の関係機関と連携して、アフターフォローを行います。

人とつながる 社会とつながる

高等部
ビジネス総合科
＜職業学科＞



京都府立城陽支援学校

～思いやりと協力を大切にし、地域や社会の発展に貢献する～

↓詳しくはこちら



授業の様子



校外での販売実習：アル・プラザ城陽



工業：木工



校外流通学習：ビルクリーニング 京田辺総合庁舎



流通：製品管理



全京都障害者総合スポーツ大会 陸上競技大会の部



社会：グループ学習



3年生校外学習：ハローワークへの訪問



情報処理：文書作成の練習

高等部ビジネス総合科<職業学科> 教育課程

生活に密着した学習							就労につながる学習								
普通教科9H							専門教科16H								
教科等	国語	数学	社会	理科	保健体育	芸術 (音楽／美術) 隔週で実施	情報処理	ビジネス家庭	作業学習		自立活動	特別活動	特別の教科 道徳	総合的な探究の時間	週時数
									（木工・窯業・縫製）工業	流通・サービス （製品管理・販売・ビルクリーニング）					
1年	2	2	1	1	2	1	2	2	9	3	7	1	※	1	34
2年	2	2	1	1	2	1	2	2	9	3	7	1	※	1	34
3年	2	2	1	1	2	1	2	2	6	6	7	1	※	1	34

「情報処理」と「ビジネス家庭」は学校設定教科として実施する。

※「特別の教科道徳」は各学期に数回、または「各教科等を合わせた指導」内でも実施する。

週時間割表（第1学年の例）

	月	火	水	木	金
	登校				
8:45	朝学活(自立活動)				
9:00	1	Jトレーニング (自立活動)	数学	Jトレーニング (自立活動)	
9:45			作業学習 (工業)		作業学習 (工業)
9:55	2	総合的な探究の時間		理科	
10:40					
10:50	3	社会	ビジネス家庭	数学	
11:35					
	昼食・休憩				
12:20	掃除				
12:35					
12:40	4	作業学習 (流通・サービス)	情報処理	保健体育	芸術 (音楽が美術)
13:25					作業学習 (工業)
13:35	5		国語	HR	情報処理
14:20				終学活 (自立活動)	
14:30	6		保健体育	下校 14:50	国語
15:15					
	終学活(自立活動)			終学活(自立活動)	
15:40	部活動			下校	部活動
16:40	下校				下校

1校時は45分授業、部活動を月・火・金に実施。

卒業生の声

3年間で自分が変わったと思うことは、切り替えと、コミュニケーションだと思います。1年生の時は、人見知りで、声も小さくて自分から話す事ができませんでした。学年が上がるにつれ自分から話したり、大きな声も出るようになりました。実習でも会社の方と色々楽しくお話できるようになりました。

(卒業生 製造業勤務)



城陽支援学校に入学して変わった事は、体力と筋力の両方が付いて自分でランニングをしたりトレーニングしたり自分なりの努力ができるようになったことです。そして今まで出来なかった事が時間をかけて出来るようになりました。出来るようになったのはメモを取る事です。卒業してからの目標は自分で一人暮らしをする為の貯金をする事です。働きながら自分で生活をするため、コツコツと毎日頑張っています。

(卒業生 食品製造業勤務)